

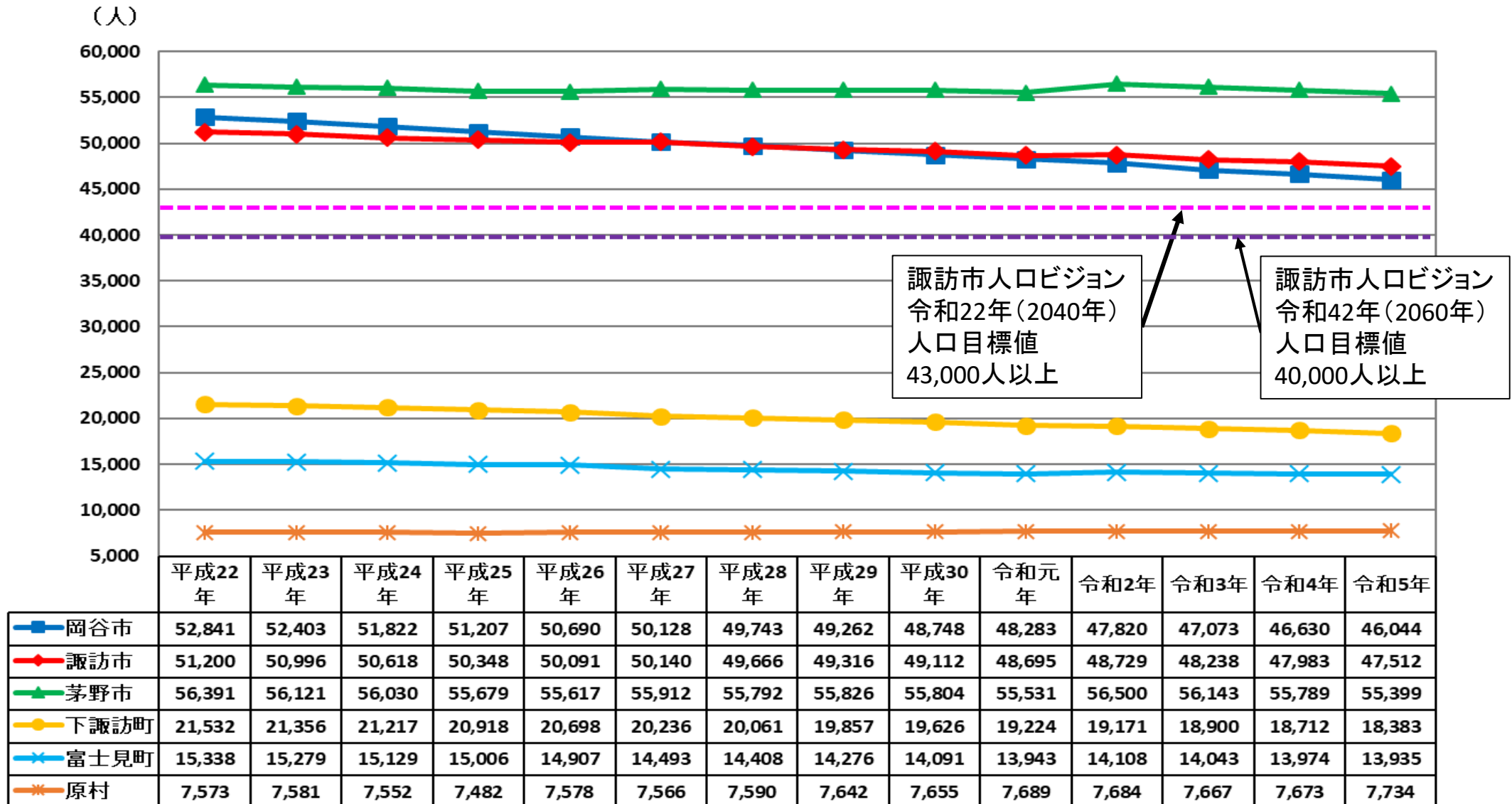
直近の諏訪市人口動態について

令和6年6月
諏訪市企画部企画政策課

諏訪地域6市町村の人口推移（人数）

①

- ・ 諏訪市の人口は47,512人(令和5年10月1日現在)であり前年比471人減となっている。
- ・ 諏訪圏の令和5年の人口は189,007人。



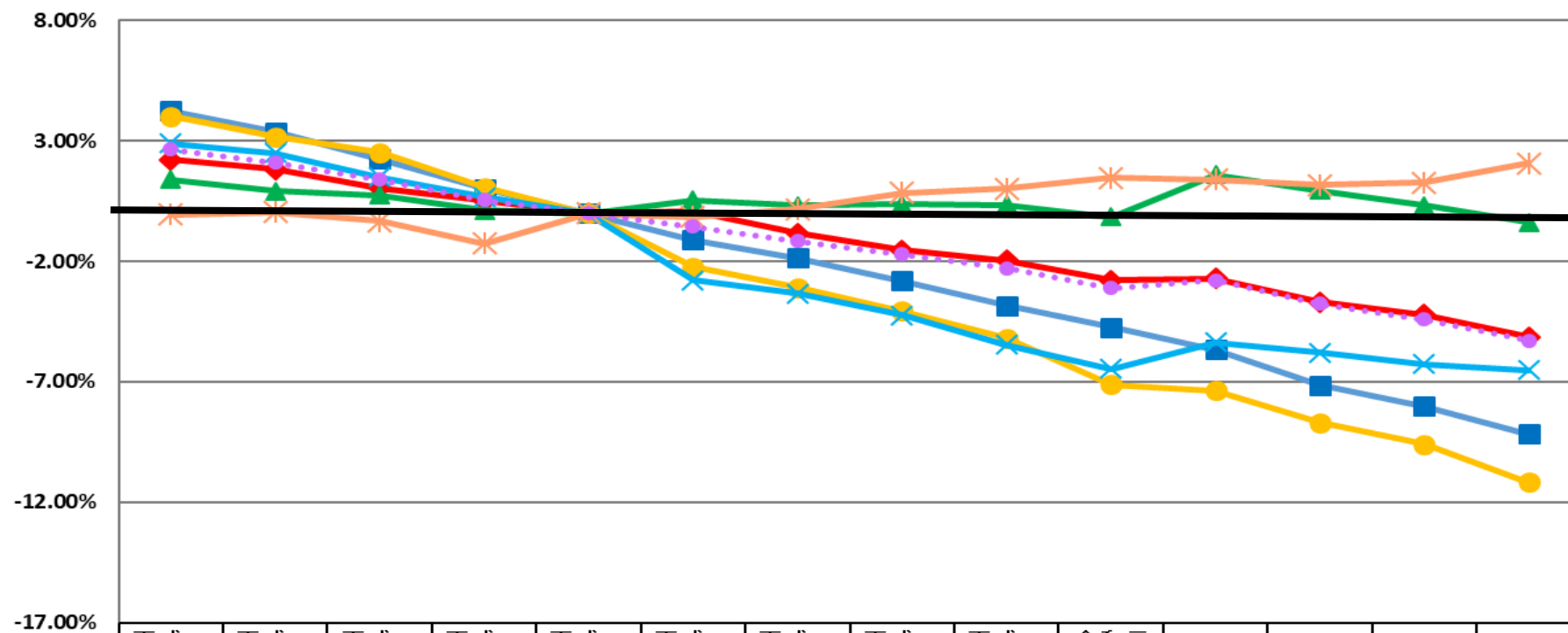
(資料)総務省「国勢調査」、長野県「毎月人口異動調査」(令和5年10月1日時点)

諏訪地域6市町村の人口推移（増減率）

②

※平成26年を基準にした総人口増減率の推移

- ・ 下諏訪町、岡谷市、富士見町の順で減少率が大きく、諏訪市が続く。
- ・ 諏訪市は諏訪圏域とほぼ同様の減少率。



	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
■ 岡谷市	4.24%	3.38%	2.23%	1.02%	0.00%	-1.11%	-1.87%	-2.82%	-3.83%	-4.75%	-5.66%	-7.14%	-8.01%	-9.17%
◆ 諏訪市	2.21%	1.81%	1.05%	0.51%	0.00%	0.10%	-0.85%	-1.55%	-1.95%	-2.79%	-2.72%	-3.70%	-4.21%	-5.15%
▲ 茅野市	1.39%	0.91%	0.74%	0.11%	0.00%	0.53%	0.31%	0.38%	0.34%	-0.15%	1.59%	0.95%	0.31%	-0.39%
● 下諏訪町	4.03%	3.18%	2.51%	1.06%	0.00%	-2.23%	-3.08%	-4.06%	-5.18%	-7.12%	-7.38%	-8.69%	-9.60%	-11.18%
✕ 富士見町	2.89%	2.50%	1.49%	0.66%	0.00%	-2.78%	-3.35%	-4.23%	-5.47%	-6.47%	-5.36%	-5.80%	-6.26%	-6.52%
✧ 原村	-0.07%	0.04%	-0.34%	-1.27%	0.00%	-0.16%	0.16%	0.84%	1.02%	1.46%	1.40%	1.17%	1.25%	2.06%
● 諏訪圏域	2.65%	2.08%	1.40%	0.53%	0.00%	-0.55%	-1.16%	-1.70%	-2.28%	-3.11%	-2.79%	-3.77%	-4.42%	-5.30%

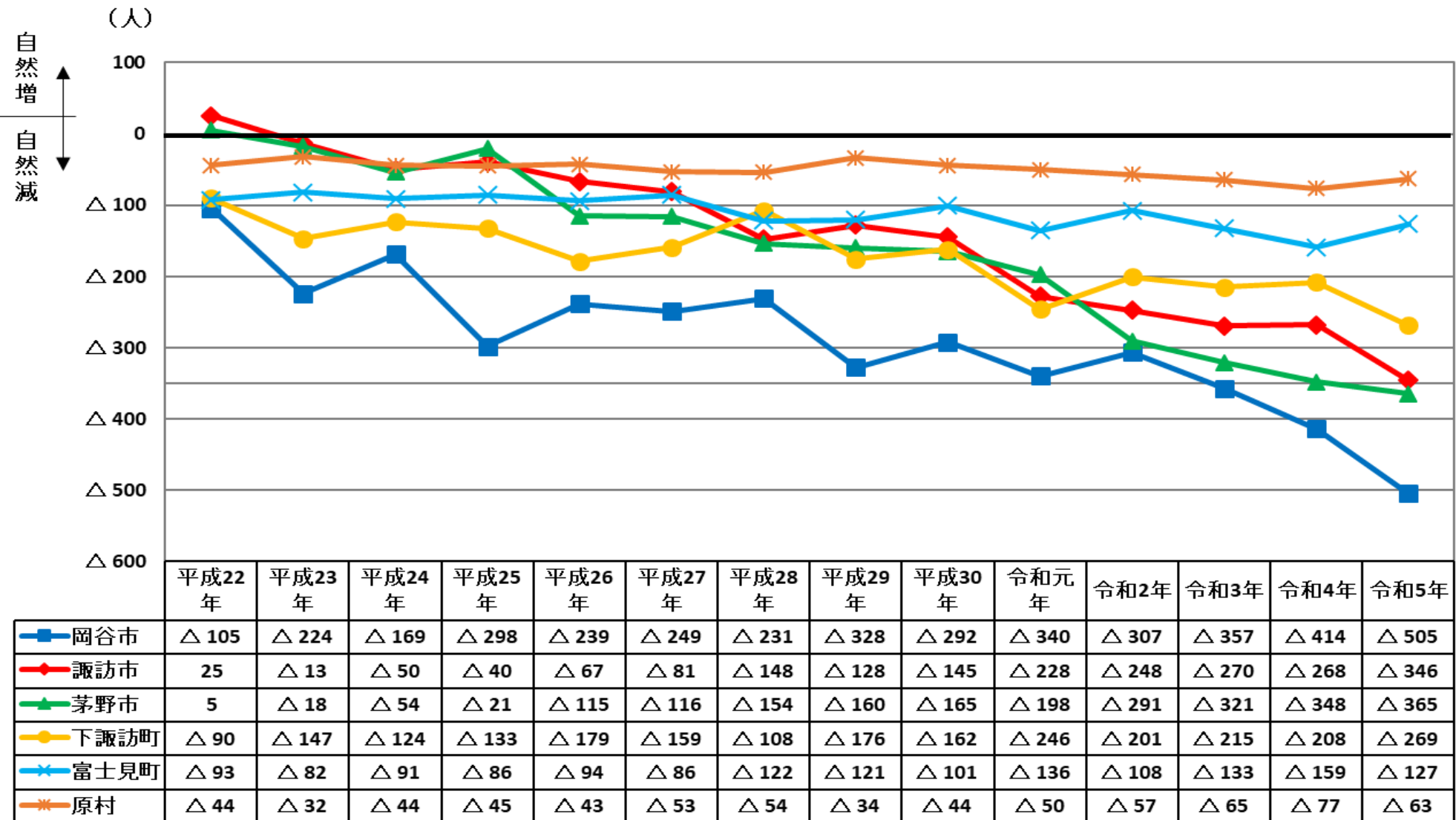
(資料)総務省「国勢調査」、長野県「毎月人口異動調査」(令和5年10月1日時点)

諏訪地域6市町村の自然増減（人数）

③

※R4.10.1～R5.9.30までの1年間の集計

- ・諏訪地域の全市町村が12年連続自然減となっている。
- ・諏訪市は令和元年から200人台の自然減であったが、令和5年は346人の自然減となった。



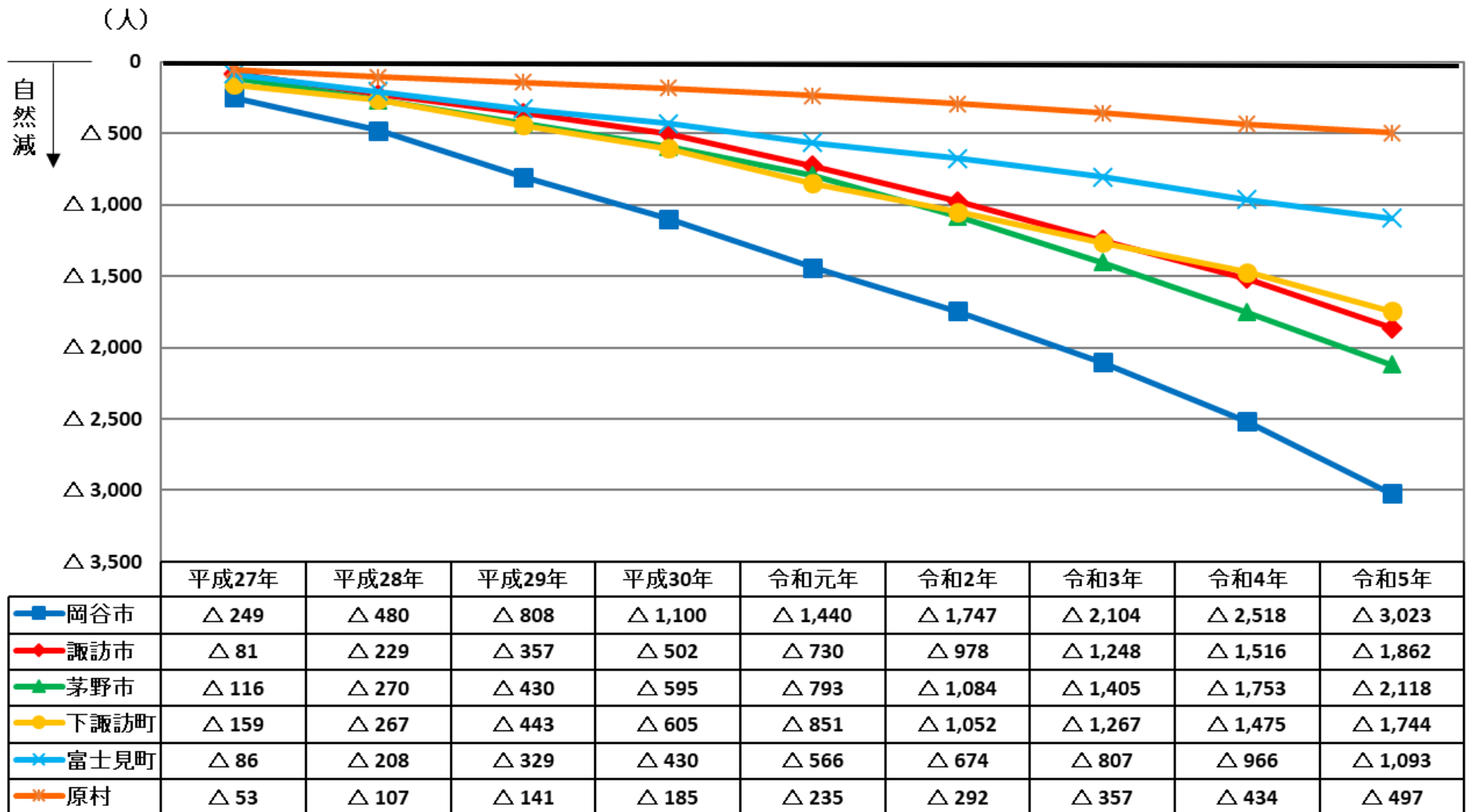
（資料）長野県「毎月人口異動調査」（令和5年10月1日時点）

諏訪地域6市町村の自然増減（累積）

④

※平成27年以降の自然増減数の累計

- ・ 累計グラフをみると、岡谷市の減少が大きい。
- ・ 6市町村全て自然減傾向である。



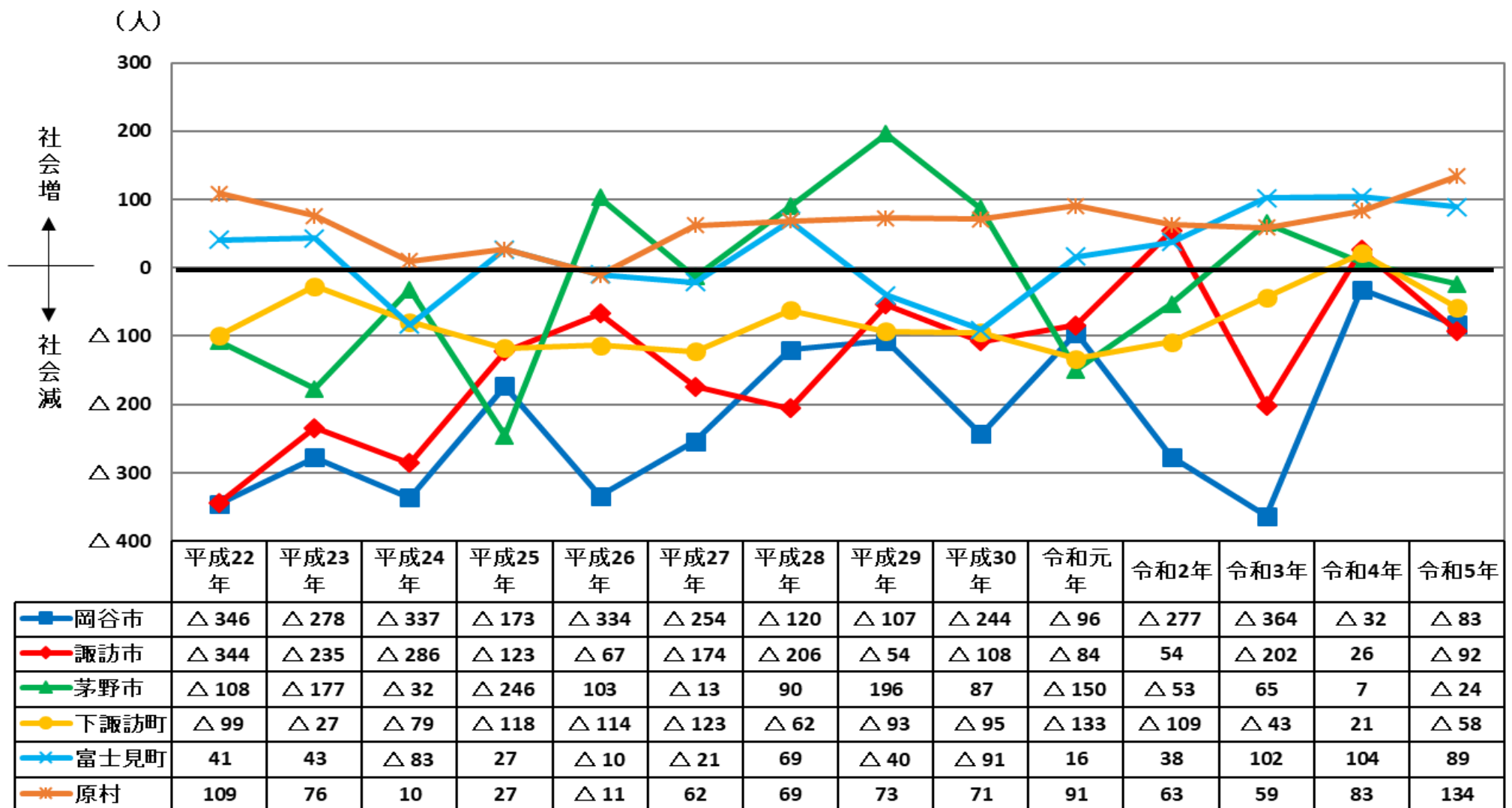
(資料)長野県「毎月人口異動調査」(令和5年10月1日時点)

諏訪地域6市町村の社会増減（人数）

⑤

※R4.10.1～R5.9.30までの1年間の集計

- ・諏訪市は令和4年は社会増であったが、令和5年は社会減となった。
- ・令和5年は富士見町、原村以外の市町は社会減となり、富士見町、原村は社会増が継続している。



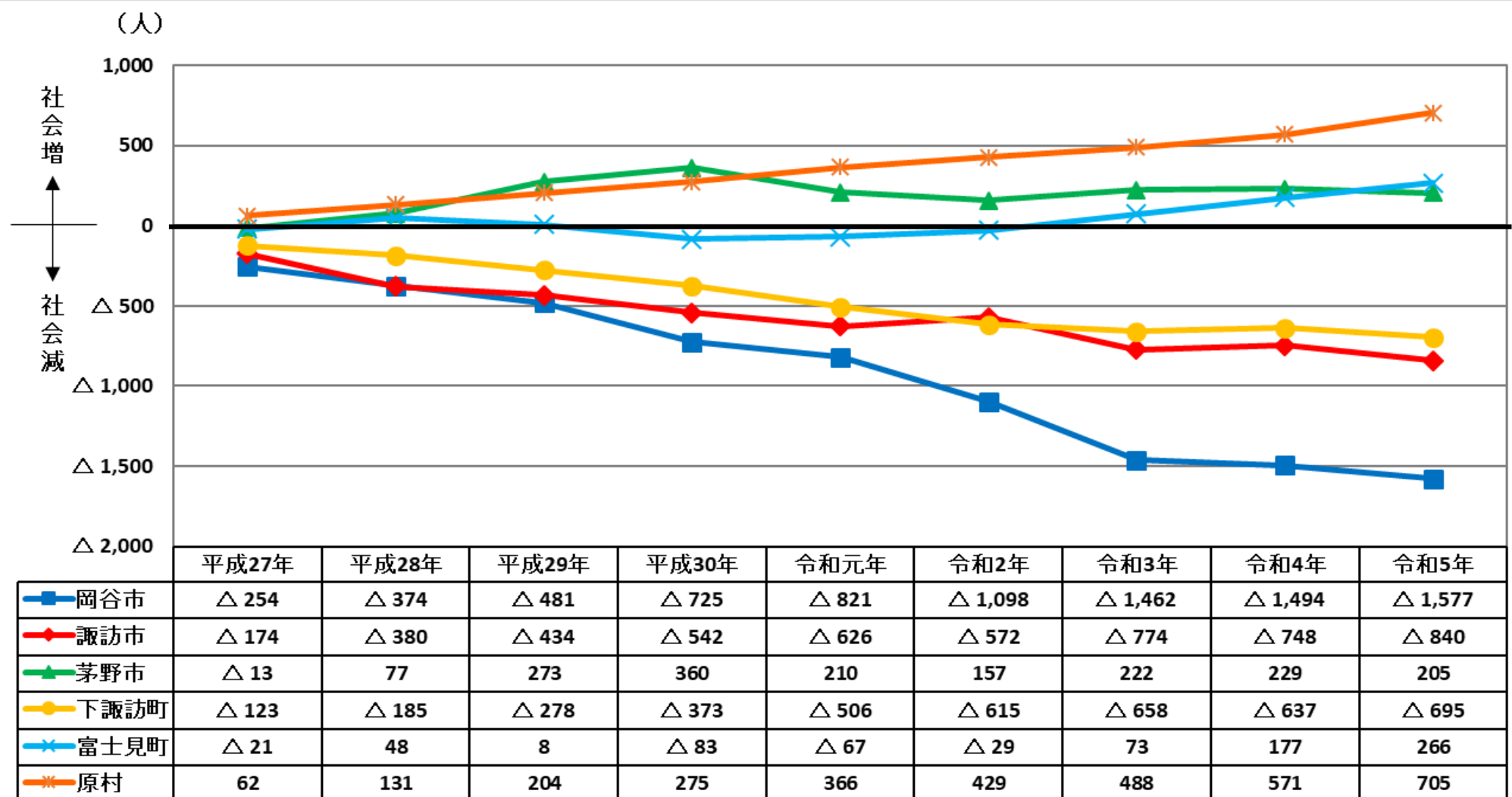
（資料）長野県「毎月人口異動調査」（令和5年10月1日時点）

諏訪地域6市町村の社会増減（累計）

⑥

※平成27年以降の社会増減数の累計

- ・ 富士見町、原村は増加傾向、その他の市町は直近3年ほどではほぼ横ばいとなっている。



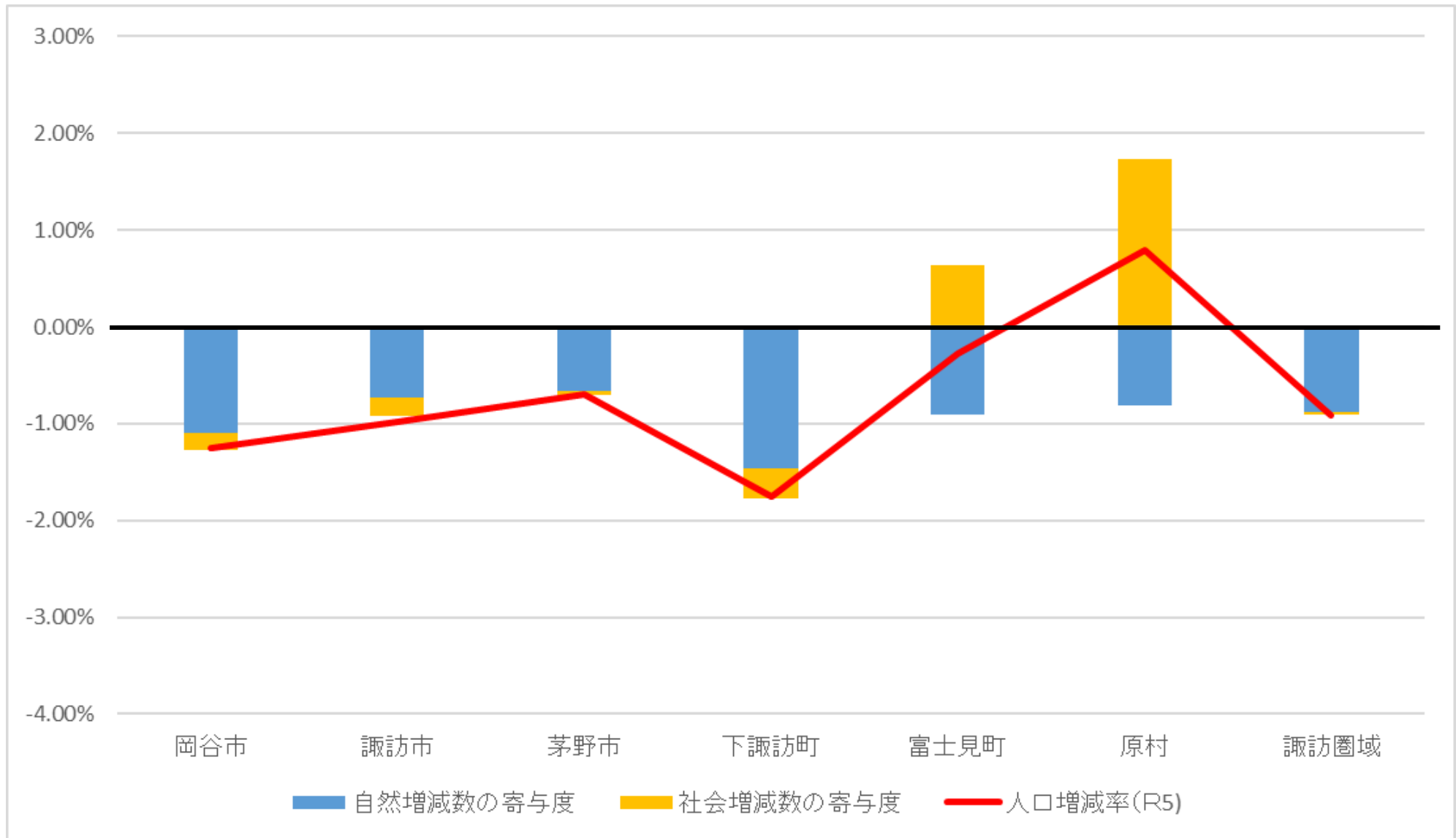
(資料) 長野県「毎月人口異動調査」(令和5年10月1日時点)

自然増減社会増減の人口に対する寄与度（R5単年） ⑦

※寄与度：合計値の変動にどれだけ影響があったのかを示す数値

自然増減数の寄与度＝R5年の自然増減数÷R5年総人口

社会増減数の寄与度＝R5年の社会増減数÷R5年総人口

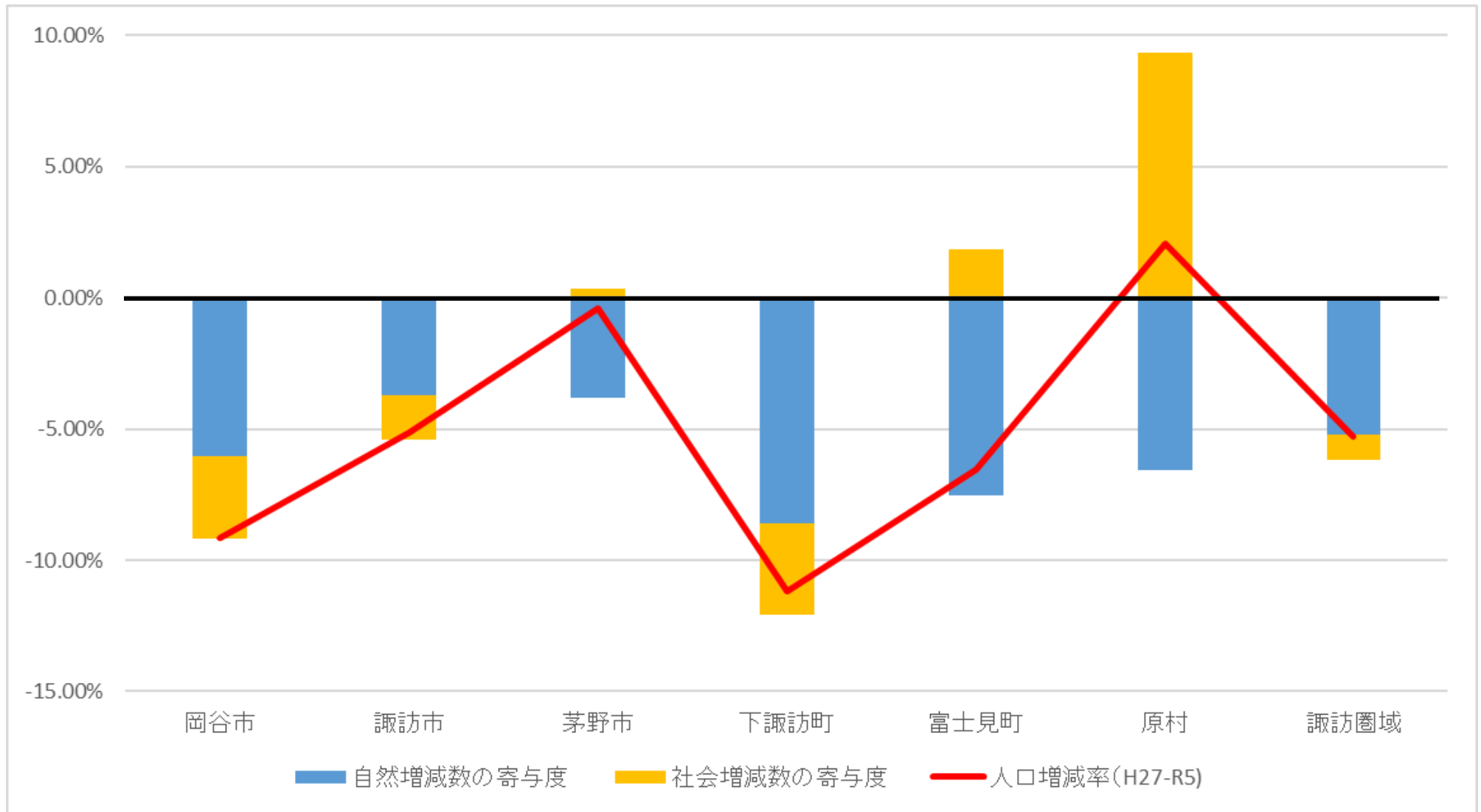


自然増減社会増減の人口に対する寄与度（H27～R5）⑧

※寄与度：合計値の変動にどれだけ影響があったのかを示す数値

自然増減数の寄与度＝H27～R5年までの自然増減数累計÷H27年総人口

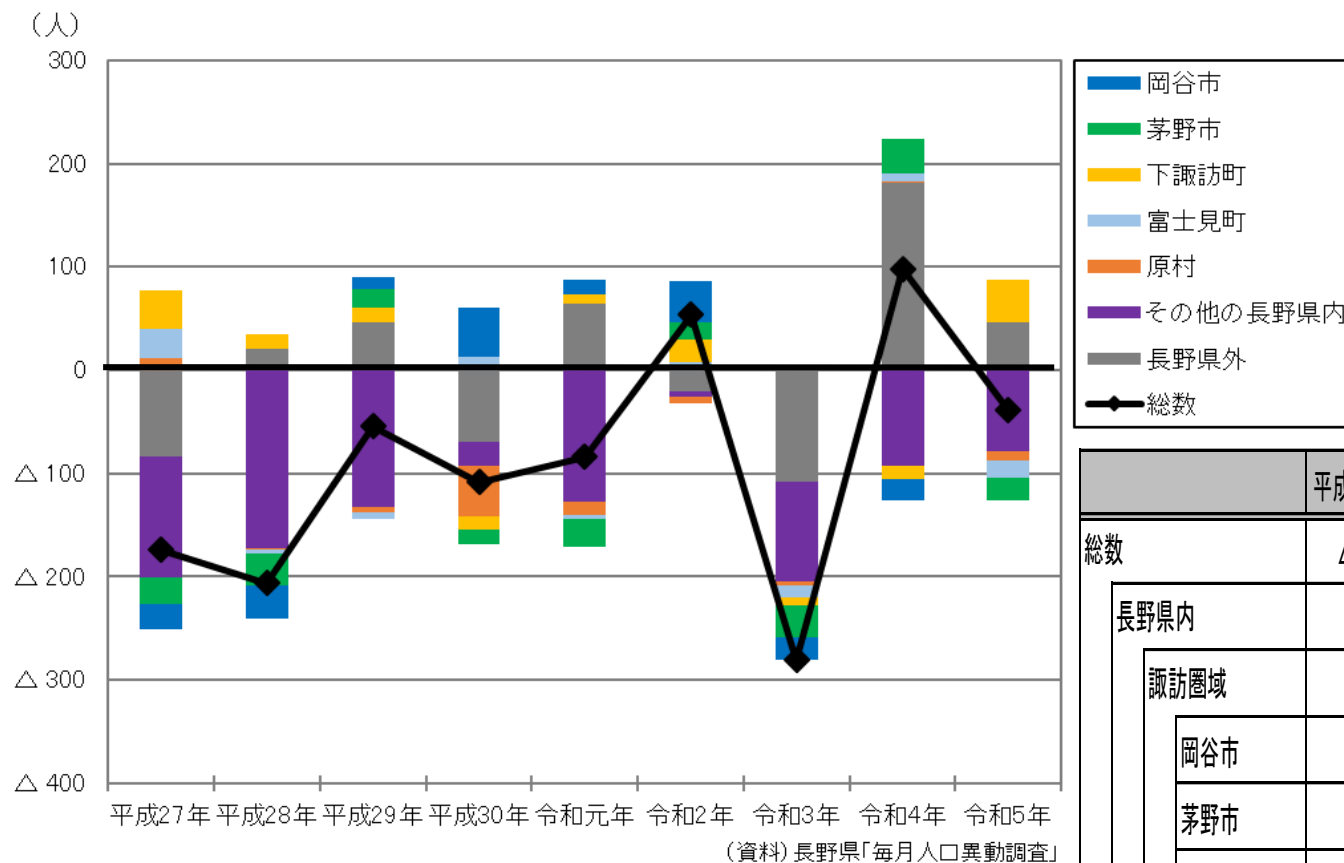
社会増減数の寄与度＝H27～R5年までの社会増減数累計÷H27年総人口



諏訪市の転入・転出の状況（地域別・R5単年）

⑨

- ・ 令和5年は前年から一転して転出超過だが、前年に引き続き県外からは転入超過となった。
- ・ 県外からの転入が多い一方で、諏訪圏域以外の長野県内への転出が多い。



	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
総数	△ 174	△ 206	△ 54	△ 108	△ 84	54	△ 281	98	△ 39
長野県内	△ 90	△ 227	△ 101	△ 38	△ 148	75	△ 173	△ 83	△ 85
諏訪圏域	27	△ 55	31	△ 16	△ 21	80	△ 76	10	△ 7
岡谷市	△ 24	△ 32	11	48	14	39	△ 23	△ 20	0
茅野市	△ 26	△ 31	18	△ 15	△ 27	17	△ 30	33	△ 22
下諏訪町	37	14	14	△ 12	9	22	△ 8	△ 13	41
富士見町	28	△ 5	△ 7	13	△ 4	8	△ 12	8	△ 16
原村	12	△ 1	△ 5	△ 50	△ 13	△ 6	△ 3	2	△ 10
その他の長野県内	△ 117	△ 172	△ 132	△ 22	△ 127	△ 5	△ 97	△ 93	△ 78
長野県外	△ 84	21	47	△ 70	64	△ 21	△ 108	181	46

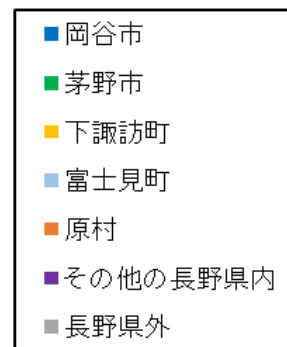
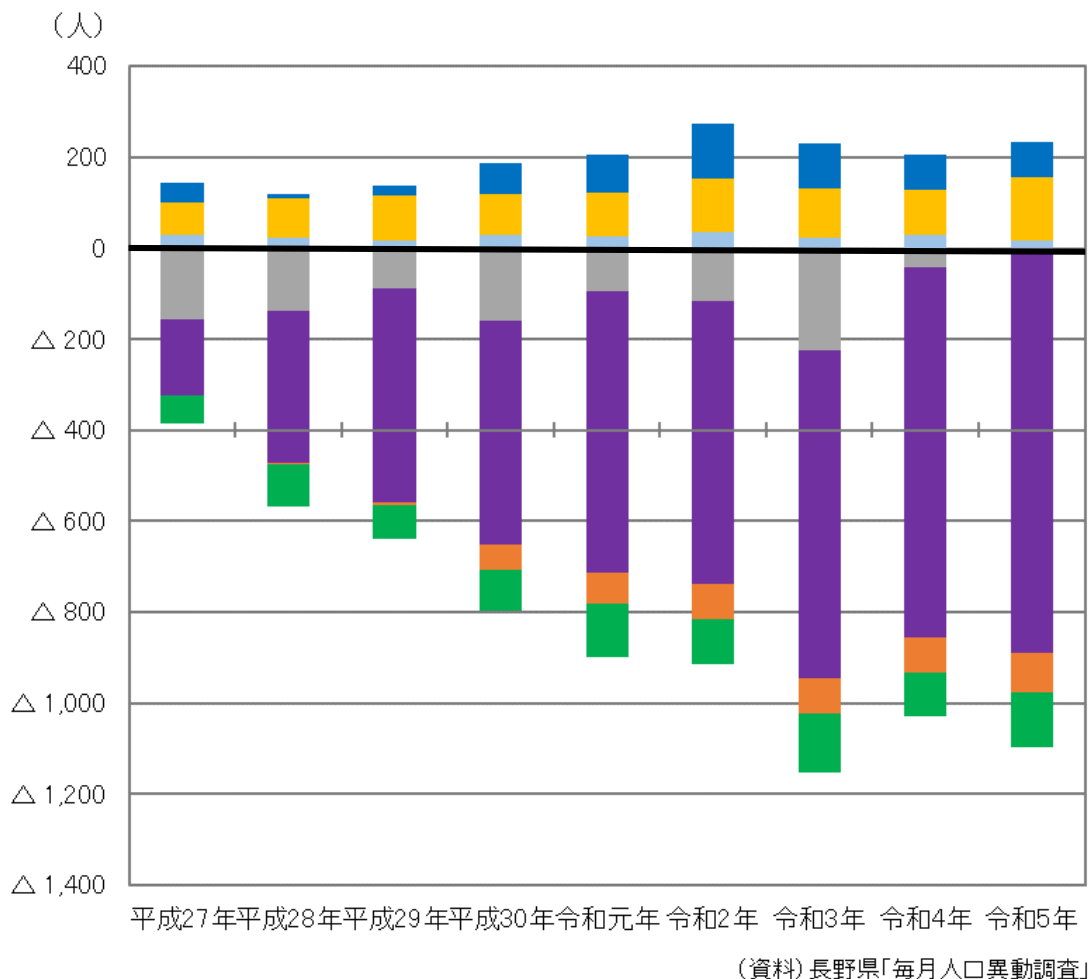
※各年間の統計結果より（10月1日を基準日とした集計ではありません。）

諏訪市の転入・転出の状況（地域別・累計）

⑩

※平成27年以降の転入・転出の累計

- ・岡谷市、下諏訪町、富士見町からは転入超過。茅野市、原村については転出超過だが、諏訪圏域以外の県内への転出が最も多い。
- ・県外については、平成27年以降の累計で初めて転入超過となった。



累計	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
総数	△ 241	△ 447	△ 501	△ 609	△ 693	△ 639	△ 920	△ 822	△ 861
長野県内	△ 84	△ 311	△ 412	△ 450	△ 598	△ 523	△ 696	△ 779	△ 864
諏訪圏域	81	26	57	41	20	100	24	34	27
岡谷市	42	10	21	69	83	122	99	79	79
茅野市	△ 62	△ 93	△ 75	△ 90	△ 117	△ 100	△ 130	△ 97	△ 119
下諏訪町	71	85	99	87	96	118	110	97	138
富士見町	30	25	18	31	27	35	23	31	15
原村	0	△ 1	△ 6	△ 56	△ 69	△ 75	△ 78	△ 76	△ 86
その他の長野県内	△ 165	△ 337	△ 469	△ 491	△ 618	△ 623	△ 720	△ 813	△ 891
長野県外	△ 157	△ 136	△ 89	△ 159	△ 95	△ 116	△ 224	△ 43	3

※各年間の統計結果より（10月1日を基準日とした集計ではありません。）

諏訪市の転入・転出の状況（年齢別）

11

- ・0～9歳の県内社会増減は社会減の状態が続く。出産後の住居建設等によるタイミングでの転出が想定される。
- ・前年と比較すると、20～24歳の転出が多くなったものの、25～29歳は大きく転入超過となった。外国人を含め、就労、転職等により諏訪市へ転入する方が多い年齢層となっている。

令和5年

年齢	社会増減			県外社会増減			県内社会増減		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
0～4歳	△ 46	△ 28	△ 18	6	△ 1	7	△ 52	△ 27	△ 25
5～9歳	△ 19	△ 6	△ 13	△ 1	1	△ 2	△ 18	△ 7	△ 11
10～14歳	△ 6	△ 6	0	△ 2	△ 6	4	△ 4	0	△ 4
15～19歳	△ 5	△ 14	9	△ 7	△ 13	6	2	△ 1	3
20～24歳	△ 28	△ 4	△ 24	△ 36	△ 12	△ 24	8	8	0
25～29歳	67	26	41	52	13	39	15	13	2
30～34歳	△ 10	3	△ 13	3	△ 2	5	△ 13	5	△ 18
35～39歳	△ 12	△ 33	21	3	△ 19	22	△ 15	△ 14	△ 1
40～44歳	6	4	2	15	5	10	△ 9	△ 1	△ 8
45～49歳	6	△ 12	18	4	△ 8	12	2	△ 4	6
50～54歳	△ 6	△ 6	0	5	3	2	△ 11	△ 9	△ 2
55～59歳	8	6	2	3	5	△ 2	5	1	4
60～64歳	△ 7	△ 5	△ 2	△ 6	△ 1	△ 5	△ 1	△ 4	3
65～69歳	7	3	4	3	3	0	4	0	4
70～74歳	4	2	2	0	0	0	4	2	2
75～79歳	△ 1	△ 1	0	△ 3	△ 3	0	2	2	0
80～84歳	1	3	△ 2	3	4	△ 1	△ 2	△ 1	△ 1
85～89歳	△ 1	3	△ 4	0	△ 1	1	△ 1	4	△ 5
90～94歳	△ 2	0	△ 2	1	1	0	△ 3	△ 1	△ 2
95～99歳	2	0	2	2	0	2	0	0	0
100歳～	3	0	3	1	0	1	2	0	2
計	△ 39	△ 65	26	46	△ 31	77	△ 85	△ 34	△ 51

令和4年

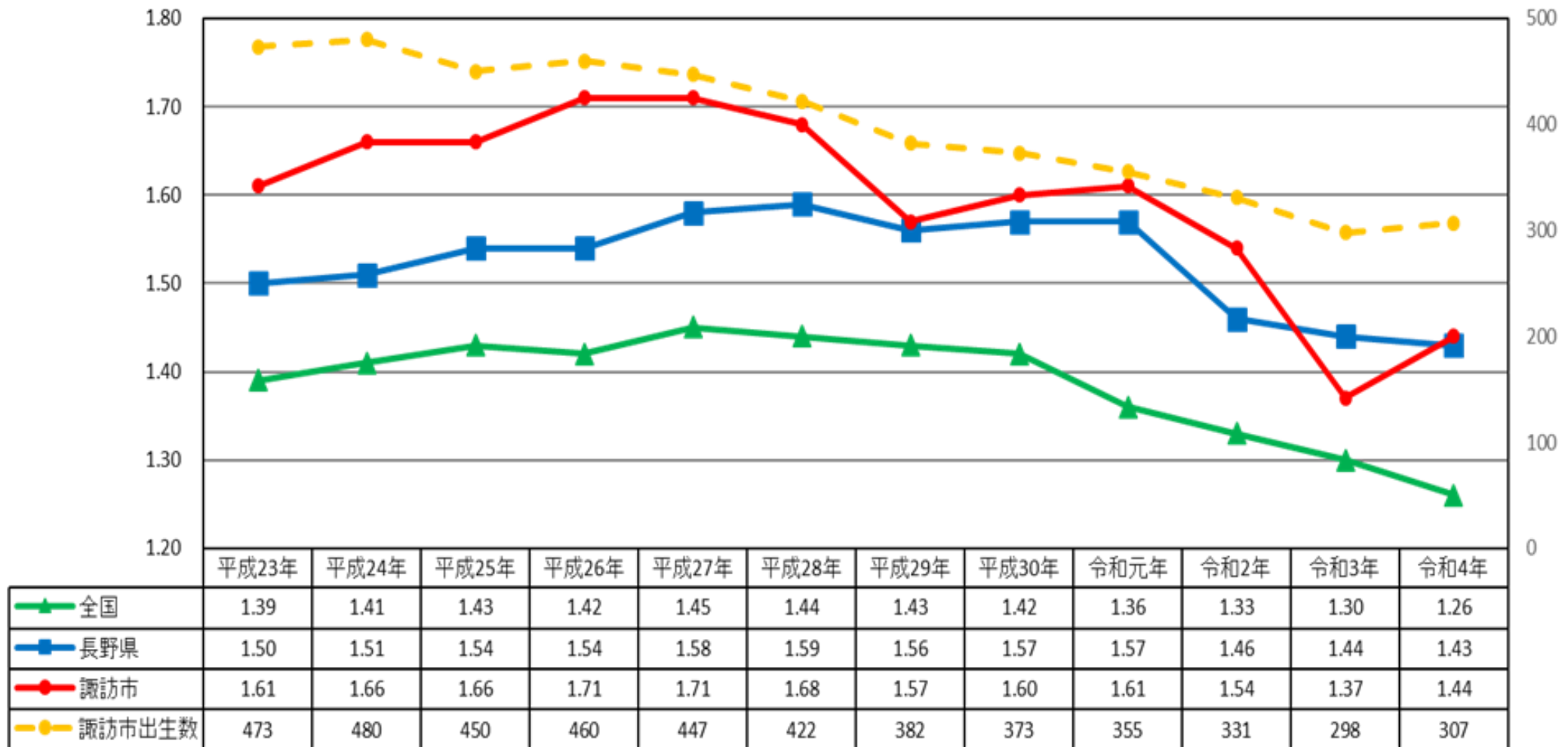
年齢	社会増減			県外社会増減			県内社会増減		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
0～4歳	△ 18	5	△ 23	14	14	0	△ 32	△ 9	△ 23
5～9歳	△ 5	△ 8	3	4	△ 3	7	△ 9	△ 5	△ 4
10～14歳	△ 4	△ 4	0	2	1	1	△ 6	△ 5	△ 1
15～19歳	△ 10	6	△ 16	△ 16	2	△ 18	6	4	2
20～24歳	57	40	17	14	32	△ 18	43	8	35
25～29歳	30	8	22	46	10	36	△ 16	△ 2	△ 14
30～34歳	13	8	5	36	9	27	△ 23	△ 1	△ 22
35～39歳	22	11	11	29	15	14	△ 7	△ 4	△ 3
40～44歳	16	5	11	13	9	4	3	△ 4	7
45～49歳	17	11	6	24	8	16	△ 7	3	△ 10
50～54歳	4	15	△ 11	10	6	4	△ 6	9	△ 15
55～59歳	18	10	8	15	6	9	3	4	△ 1
60～64歳	△ 8	△ 6	△ 2	△ 1	△ 1	0	△ 7	△ 5	△ 2
65～69歳	5	1	4	7	3	4	△ 2	△ 2	0
70～74歳	△ 15	△ 8	△ 7	△ 5	△ 1	△ 4	△ 10	△ 7	△ 3
75～79歳	△ 7	△ 3	△ 4	△ 3	△ 1	△ 2	△ 4	△ 2	△ 2
80～84歳	△ 8	△ 6	△ 2	△ 3	△ 1	△ 2	△ 5	△ 5	0
85～89歳	△ 3	△ 1	△ 2	△ 2	△ 2	0	△ 1	1	△ 2
90～94歳	△ 5	△ 5	0	△ 3	△ 3	0	△ 2	△ 2	0
95～99歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100歳～	△ 1	0	△ 1	0	0	0	△ 1	0	△ 1
計	98	79	19	181	103	78	△ 83	△ 24	△ 59

※各年間の統計結果より（10月1日を基準日とした集計ではありません。）

諏訪市の出生率及び出生数の推移（令和4年）

⑫

- ・ 令和4年は、令和3年の出生率から+0.07ポイント上昇。
- ・ 令和3年が1.37と低い数値だったが、新型コロナの影響等が考えられ、アフターコロナとなる令和5年の数値が期待される。（令和5年の出生率は令和6年秋頃公表予定。）



（資料）厚生労働省「人口動態調査」、長野県「毎月人口異動調査」

※ 諏訪市については（母の5歳階級別出生数÷5歳階級別女性人口）の5倍を合計して算出した独自推計

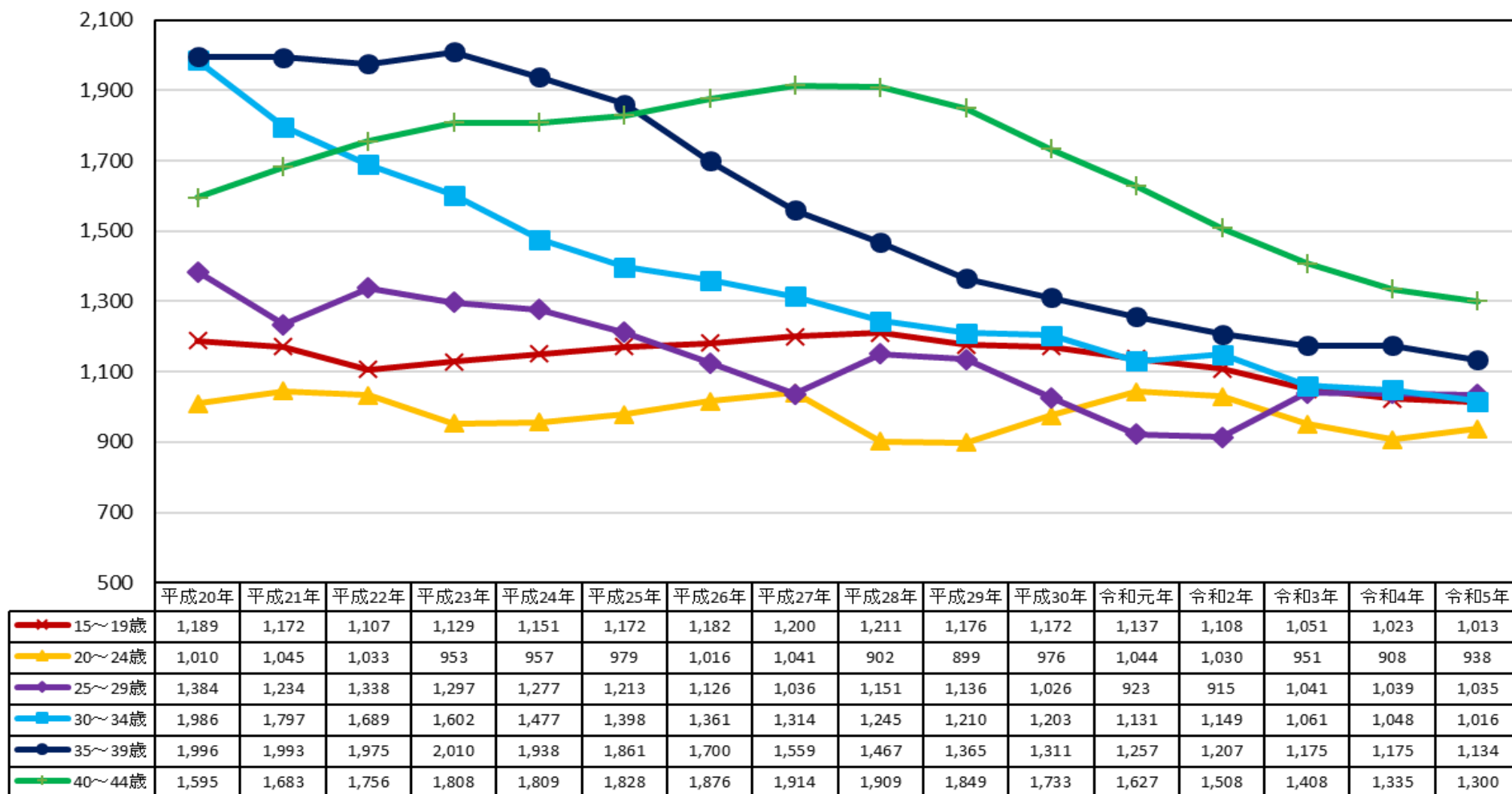
※ 出生数については、母の年齢15～49歳まで。

参考：諏訪市の女性人口の推移

⑬

- ・ 30歳以上の女性人口は減少傾向であるが、20～29歳の女性人口は900～1,100人の範囲内で上下しており、社会増減の影響が最も表れる年齢層であるため、この層の諏訪市への定住支援を行うことで社会減を抑制することが出生率の上昇等にも寄与するものと考えられる。

(女性人口)



(資料) 長野県「毎月人口異動調査」(毎年10月1日現在)

○令和5年は社会減となった

- ・令和4年は社会増であったが、令和5年は社会減となった。
- ・令和4年から引き続き県外からは転入超過であった。

○引き続き自然減であり、令和5年は減少数が300人台となった

- ・令和4年までと比較すると大きく自然減となっており、人口の年齢別比率が転換してきている影響も考えられ、令和6年以降の数値を注視していく必要がある。

○出生数、合計特殊出生率の低下

- ・令和4年は出生数、出生率ともに令和3年から回復した。
- ・アフターコロナとなる令和5年の数値（令和6年秋頃公表予定）から、コロナ前～コロナ後の傾向等を考察していく必要がある。